

雑木林ファンクラブ 通信

住所: 〒247-0013 横浜市栄区上郷町 1562-1 「横浜自然観察の森」 Phone 045-894-7474

新年度を迎える機会に

2020 年度はコロナウイルス感染症対策のため、6 月からの活動となりましたが、クヌギの林からの玉切材の新たな搬出路の開拓やピクニック広場の草刈り、クヌギの林に粗朶柵(そださく)づくりなど新しい保全活動に取り組むことが出来ました。また、炭小屋での活動も 30 周年を迎え、老朽化した小屋の屋根の再塗装、柱の交換、本窯側壁の修理などを行いました。また、備品類の充実に関して、ロープウインチ導入や刈払い機の増強を行い、ウインチによる丸太搬送作業の軽減や熟練した刈払い機操作者による緩斜面の草刈を行う規準で池ノ上、クヌギの林の草刈りを実施し、安全に作業できることを確認しました。刈払い機やチェーンソーの安全な操作は習熟が必用です。今後も、これ等の機械を使用される方は、労安法に定められた講習や安全教育を受けていただき、比較的 안전한作業の中で習熟していただくことを進めていきます。

しかしながら、活動制限の中、森ボラ、森の作業体験、スプリングフェアなどのイベントがすべて中止となり、新入会員の募集や保全作業にかかる費用の資金調達について課題を残しました。今後とも、皆様のご意見をお伺いしながら、役員の中で検討を進めて行かなければならないと思います。

ここで、この書面をお借りして、雑木林ファンクラブの運営について、普段あまり説明することのない点について述べさせていただきます。まず、財政面ですが、保全作業や木工に使われる備品類や炭小屋の維持費、講習費に多く支出します。収入は会費、並びに友の会からはプロジェクト費としてチェーンソー関係の補修費、燃料費と講習会参加費用の一部を拠出していただいています。また、スポーツ保険の掛金を友の会安全対策費として、拠出してもらっています。これは、ボランティア保険だけではチェーンソーを使う作業が免責となるため、ZFC のみ全員掛けていただいています。ただし、これらの収入に占める割合は低く、間伐材などの森の恵みを活用して皆様が作成した木工品などの頒布によって得る資金が収入の大半です。それに加えて、環境活動助成団体(花王みんなの森づくりやイオン環境財団)からの助成金を頂いていますが、これは各年度、行事を計画してそれにかかる費用を申請して助成を頂くもので目的・用途が明確になっています。例えば、最近では「雑木林管理ゾーンの保全並びに木材の有効活用や活動を通じて社会と交流を…」を目的に丸太運搬用ロープウインチを助成していただきました。これからも、皆さんから良い行事企画が出れば、計画して申請し、助成を受けていきたいと思っています。さらに、備品類の補助として、友の会全体に横浜市から貸与品があります。救急用品や剪定ばさみ、ノコギリなどがそれにあたります。クラブの財政面の概要は以上ですがご理解いただけたでしょうか。

もう一つ、お話しておきたいのは、森づくりに関する各種研修を、横浜市が企画して、我々のような森づくり活動団体に提供してくれています。安全面や作業面で参考になることが学べると思いますので、ぜひ希望される方は参加ください。友の会経由または横浜市環境活動支援センターHP にも掲載されています。私が参加した安全研修では、「ツタウルシは、横浜自然観察の森にたくさんありますよね、とのコメントから説明がスタートして、驚きましたが(後に確認すると、園路の近辺はすでに除去されているようです)現物をよく確認して、熟知しておくこと。夏場の草刈りにて、ツタウルシがあれば、刈払機や手で引き抜くなどの作業はやめたほうが良い。冬場は、水を吸い上げていないので切っても大丈夫。」との説明を頂き、大いに参考となりました。安全な作業のための研修ばかりではなく、自然観察講習(樹木、鳥)などもあるので、今までは役員が参加していましたが、興味のある方はぜひ参加ください。

お話したいのは以上ですが、クラブの運営に関し、質問があれば役員に遠慮なくして下さい。

1. 前回運営会以降の活動実績

- 2月20日(土) 18名 椎茸ホダギ作り
- 2月24日(水) 10名 3,4区画調査事前準備 ホダギ置場整理 薪割り
- 2月27日(土) 17名 クヌギの林粗朶柵づくり 炭小屋裏不要木伐倒玉切 ZFC通信発送
- 3月3日(水) 8名 クヌギの林玉切材移動 製材
- 3月6日(土) 15名 7区伐倒2本 製材
- 3月10日(水)12名 炭小屋裏スギ材搬入 7区伐倒材玉切
- 3月13日(土) 3名 炭小屋作業
- 3月17日(水) 16名 炭小屋作業、大型薪割り機調整
- 3月20日(土) クヌギの林玉切材搬入 運営会

2. 連絡、確認、提案

①会計報告について(別紙)

②5月連休中の活動について

通常の活動に加えて、5/2-4日の間、新型コロナウイルス感染症防止策を十分取った上で、炭小屋前に出展し、木工品などの展示と森の紹介を行いたい。これにより、SFなど含めイベントが中止になって、疎かになっている地域社会との交流を深めていきたい。

- ・ZFC側の外部対応者は4名以下とする
 - ・出展エリアは明確に分ける(従来通り)
 - ・アルコール消毒液を常備・使用する
 - ・その他、ZFCルール並びに横浜市SF出展ガイドラインに準じる
 - ・5/2-4の間は、炭小屋内だけの活動といたします
- ※参加して下さる方を募ります。ご連絡ください。

3. 今後の活動予定

- 3月24日(水) ドラム缶窯炭材装入 炭小屋作業
 - 3月27日(土) ドラム缶炭焼き9-17時 炭小屋裏玉切材引上げ 炭小屋裏植生調査準備
 - 3月31日(水) 炭小屋作業
 - 4月 3日(土) 炭材の窯出し 炭小屋裏植生調査準備
 - 4月 4日(日) 友の会総会
 - 4月 7日(水) 炭小屋作業 製材 炭材薪割り
 - 4月10日(土) 畑又は7区伐倒&玉切 畑・7区の伐倒木の確認 炭焼き炭材準備
 - 4月14日(水) 炭小屋作業 竹林整備 総会資料準備
 - 4月17日(土) 本窯ドラム缶窯炭材準備上げ木搬入 竹林整備 ZFC総会(立席) 運営会
 - 4月22日(水) 炭小屋作業 本窯炭材準備
 - 4月25日(土) 炭小屋裏伐倒 竹林整備 ZFC通信発送
 - 4月29日(水) 炭小屋作業 本窯炭材準備
 - 5月1日(土) 本窯ドラム缶窯炭材作り 炭小屋裏不要木伐倒
 - 5月2日(日)~4日(火) 地域社会との交流(木工品頒布と森の紹介)
 - 5月5日(水) 炭小屋作業
 - 5月8日(土) 炭小屋裏植生調査
 - 5月12日(水) 炭小屋作業 製材 ピクニック広場草刈
 - 5月15日(土) 炭焼き炭材装入 ZFC運営会
- ※これからの季節は鳥の営巣期間のため、森の中でのエンジンの使用は不可です。ただし、7区・畑、炭小屋裏斜面についてはセンターと調整の上、チェーンソーによる伐倒作業があります。

(記 星隈)